日本共産党 和歌山市会議員
# ひめだ高宏ニュース
NO.1397
'22.7.19

## 暑中お見舞い申し上げます。

ほとんど雨が降らずに梅雨が明け、一気に暑い夏となりました。しかもコロナの第7波が押し寄せています。日中、どこで過ごすにしても熱中症に気をつけて、こまめな水分補給と適当な冷房の利用で、今年の夏を乗り切りましょう。

## 市長選で吉本氏を自主支援

日本共産党和歌山県委員会は15日、和歌山市長選（8月14日告示、21日投票）で「和歌山市長選にのぞむ日本共産党の立場について」の見解を発表しました。見解の全文は次のとおり。

日本共産党は、8月14日告示、21日投票でおこなわれる和歌山市長選挙にあたって、市長選への立候補を表明している吉本昌純氏を自主的に支援します。吉本氏は、いかなる政党の推薦も支持も受けないとの立場を表明していますが、日本共産党として「自主的支援」としたのは、吉本氏がIR・カジノを将来にわたって誘致する考えがないことを表明しているからです。

4月20日の和歌山県議会本会議で、県当局が提案した「和歌山IR」議案が反対22、賛成18の反対多数で否決されました。IR・カジノ計画は、「人の不幸の上に成り立つ」カジノをもって、県勢の振興をはかるというものでしたが、県民、和歌山市民の強い反対の声、住民運動を受けた議会の良識が発揮され、否決されるという画期的なことでした。

しかし、国のIR推進の姿勢は変わらず、カジノ関連法が存続しているなかでは、IR・カジノ誘致の計画が再浮上する可能性があります。そんな状況のもと、吉本氏が5月26日の立候補表明の場でカジノ誘致反対を明言したことは、カジノ反対の住民のみなさんと協力、共同してカジノ反対でたたかってきた日本共産党としてともっと働け」と聞こえてくるのです。

ここに来てまたコロナの感染者が増えてきています。毎日、議会事務局から和歌山市の感染者数がメールで届きます。15日は337名、16日は283名、17日は509名でした。毎日のように通ったギョーザ屋さんやラーメン屋さんにもご無沙汰しています。代わり映えしないあの日常に、いつ戻れるのでしょうか？

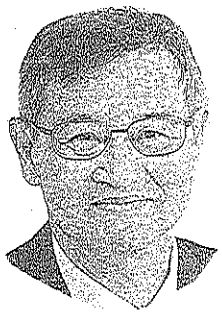
## フツーの人々

〈1180〉

## 今週のフツーの人々（その343）

### セミが鳴く

梅雨明けが発表されたころ、まだセミが鳴いてないなと思った日がありました。気づけば至る所でセミの大合唱となっています。セミの鳴き声がシャワーのように降り注ぐ中をバイクで走っていると何だか落ち着かないような、何かしなければならない仕事を忘れているような気持ちになります。今時分のセミの鳴き声が私には「セッセセッ



ひめだ高宏

て、吉本氏のカジノ誘致反対の態度表明を歓迎するものです。

「活気ある住みよい和歌山市をつくる会」は6月20日臨時総会を開き、吉本昌純氏を自主的に支援することを決定しました。日本共産党は、「市つくる会」の構成員であり、自主的支援の態度で市長選に臨みます。尾花市政の問題点を明らかにするとともに、吉本氏がカジノ誘致を許さない市政を実現すること、また吉本氏の市民本位の政策を市民に知らせ、吉本氏への支持を広げる宣伝活動をおこないます。

自主的支援という初めての形の市長選ですが、カジノを阻止した住民の良識に依拠し、カジノをつくらせない市政の実現に向けて、力を尽くします。

しんぶん赤旗
日刊3,497円/月の日曜版930円/月
普及にご協力を！

## こんにちは日本共産党です

### 日本共産党創立100年

日本共産党は、1922年7月15日の創立から100年を迎えました。この1世紀には、国民の利益擁護、反戦平和、民主主義、社会進歩をめざす立場を貫き、果敢にたたかい続けてきた歩みが刻まれています。権力による過酷な弾圧に屈せず、主権在民・反戦平和を掲げ続けた戦前のたたかい。旧ソ連や中国からの乱暴な干渉をはねのけ、どんな大国の覇権主義も許さず自主独立の立場を確立した戦後のたたかいは、今のロシアや中国、アメリカに対しても重みを増しています。

日本共産党がなによりも大事にしているのは、国民の共同の力で社会を変える取り組みです。日本の政治を変える道は、市民と野党の共闘を広げるしかありません。日本共産党は、そのために奮闘を続けます。

## 今どき小学生 くるみちゃん的生活 (310)

by おおえだけいこ

弔

しんぶん赤旗日刊紙に月2回（1・3土曜）掲載中です。7月16日分を紹介します。

## ホント、本っておもしろい

「チ。地球の運動について」（魚豊（うおと）、作・画のコミック）小学館全8巻は、コペルニクスが誕生する前の15世紀前半から地球が宇宙の中心で不動であり太陽や星たちが地球の周りを回っているとの天動説が絶対の時代に天体観測を続けるなかで地動説に近づいていく人々の物語。当時の支配者である教会は地動説の研究や考えを異端思想と弾圧し、転向を強要しますが、真理を極めようとする人々は、弾圧による死を避けることなく受け入れ、連鎖していきます。絶対的価値観、真理と宗教と学問、女性に教育は必要がないなどのジェンダー問題など、いろいろ考えることができました。